

トップフォーラム
Top

2015.3
VOL.33 NO.482

経営者による経営者のためのマガジン
Forum

DIET STUDYが掲載されました

経営者の生の声を発信する特別企画

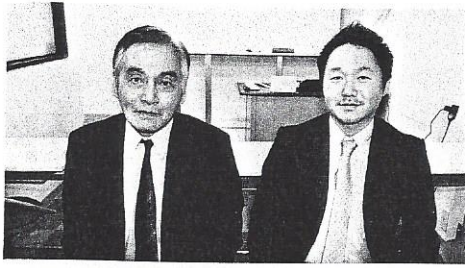
志 絆 輪 匠 心 道

巻頭特集

血液供給の 安定を目指して

～少子高齢化の今、献血について考える～

表紙写真：スカイツリータウン内の献血ルーム



私大文系専門

DIET STUDY

超圧縮カリキュラムと対話式授業

東京都武蔵野市吉祥寺南町 1-31-2

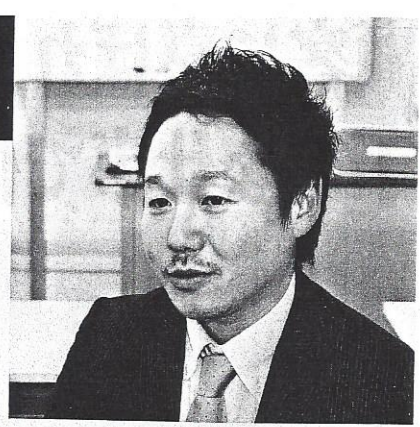
七井ビル 210

TEL 0422-47-5251

URL : <http://www.diet-study.jp>

共同代表・事業責任者

小路永 啓多



共同代表・塾長

村山 雅俊

ゼロから一流大学への合格を保証する塾

私大文系を専門とし、特に「MARCH」の入学を目指す生徒を対象としている学習塾『DIET STUDY』。同一の講師による超圧縮カリキュラムと手厚い合格保証制度が評判を呼び、生徒数を飛躍的に伸ばしている。そんな注目の同塾に岡本富士太氏が訪れ、小路永代表に様々なお話を伺った。

岡本 こちらは、独自のカリキュラムを用いた学習塾だと伺っています。

小路永 当塾は東京の私大文系、特に通称「MARCH」と呼ばれる五大学『明治大学』『青山学院大学』『立教大学』『中央大学』『法政大学』の志望者を対象としています。入塾テストなどは行っており、たとえ低偏差値の生徒であっても、「MARCH」以上への逆転合格は十分に可能だと考えているのですよ。また、合格保証制度も設けており、保証条件をクリアしている生徒であれば、仮に「MARCH」に合格できなかった場合、翌年の授業料は全額免除しています。その保証条件の一つが、授業で扱った範囲内から出す復習テストの合格率を、午前コースであれば90%以上、午後コースであれば80%以上にすること。4月から1月までという長期間のカリキュラムの

ため、目先の目標を設定して中弛みを防ぐ考えで、この条件を採り入れています。岡本 それは保護者にとっても安心でしょう。具体的には、どのような指導方法を採用されているのですか。

小路永 10カ月間で私大文系の入試に必要な3科目、英語・国語・社会を基礎から教えており、3教科全てを同じ講師が指導しています。そうすることで、教科ごとに講師がいる大手予備校、他塾では雇用の問題上真似ができない、「MARCH」以上に合格するための最も効率の良いカリキュラムが組めるのですよ。具体的にはまず、配点が高く、成績UPに時間がかかる英語を1.5カ月間集中して教え込み、その後は英語と並行して暗記が重要となる社会の授業を開始。国語は秋ごろから着手するという「超圧縮カリキュラム」を採用しています。東大合格者のセンター試験の正答率を見ても、他教科は約9割のところ、国語は平均8割前後。東大合格者であっても国語は難しいので英語・社会を重視し、3教科の合計点で合格へと導いています。

岡本 志望校の合格には生徒さんの今後がかかっていますから、責任も重いでしょう。

小路永 責任はありますが、同時にやり

甲斐も感じています。まだまだ学歴重視な日本社会にあって、一流大学の合格へと導くことで、生徒の人生の選択肢を広げたい。そんな想いを持ってこの仕事に臨んでいます。実は私自身、こちらの元塾生で、高校生まではサッカーに熱中し、勉強は全くできませんでした。そんな低偏差値だった私でも、こちらで学力を身に付けたことで、『早稲田大学』に逆転合格でき、大学卒業後には『キーエンス』という一流企業に就職することもできました。その経験があるからこそ、私はどんな生徒に対しても最後まで寄り添い、信じ続け、一流大学合格への道をサポートしたいと思っています。

岡本 元々は勉強が苦手だった小路永代表なら、生徒さんの気持ちを人一倍理解できるでしょうね。それでは最後に、今後の目標をお聞かせ下さい。

小路永 合格保証条件を満たした生徒の「MARCH」以上への合格率は、過去10年間で93.3%。その実績が認められ、今年度は去年より生徒数が3倍近く増加しており、2015年3月には町田校をオープンする予定です。そして今後としては、3年で全国5校舎に広げ、さらに実績を積み重ねた後、このカリキュラムをフランチャイズ化したいと考えています。また、近くに塾が無いような地域に住む方々にも当塾のカリキュラムを提供できるよう、いずれは対話式の衛星授業を手掛けたいですね。

(取材/2014年12月)



ゲスト 岡本 富士太

「順調に生徒数を増やしていってほしい『DIET STUDY』さんですが、それでもさらに合格率が上がる見込みだそうです。今後も多くの生徒さんの可能性を、広げていただきたいですね」